予　算　要　求　資　料

令和８年度１２月補正予算　　支出科目 款：衛生費　項：医務費　目：医療整備対策費

事 業 名 ＤＭＡＴ（災害派遣医療チーム）活動費

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）
健康福祉部　医療整備課　医療整備係　　電話番号：058-272-1111(内3237)
E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

１ 事 業 費　補正要求額　　6,620 千円　（現計予算額：　　0 千円）

＜財源内訳＞

区　分	事業費	財源内訳							
		国　庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財　産 収　入	寄附金	その他	県　債	一　般 財　源
現　計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補　正 要求額	6,620	1,399	0	0	0	0	0	0	5,221
決定額									

２ 要 求 内 容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

令和８年７月に発生した「令和８年熊本地震」の被災地を支援するため、被災地から国を通じて要請のあった災害派遣医療チーム（ＤＭＡＴ）の活動経費に対して弁償と補助金を支給する。

（２）事業内容

ＤＭＡＴ（災害医療派遣チーム）の派遣
（派遣期間）８月４日（火）から８月１０日（月）までの７日間
（活動内容）救急患者治療、搬送　等
（活動チーム数）４チーム
ＤＭＡＴコーディネーションチームの派遣
（派遣期間）８月１日（土）から８月１８日（火）までの１８日間
（活動内容）医療支援（本部機能支援）
（活動チーム数）４チーム

（３）県負担・補助率の考え方

災害救助法対象　　：国10/10
国庫補助「医療施設運営費等補助金」対象：国1/2、県1/2
　※災害救助法対象外の経費
その他　　：県10/10

（４）類似事業の有無

無

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	3,821	ＤＭＡＴの活動経費に係る負担金
補助金	2,799	ＤＭＡＴコーディネーションチームの活動経費に係る補助金
合計	6,620	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

保健医療計画（ＤＭＡＴの被災地への派遣及び支援）

（２）国・他県の状況

被災県からの派遣要請を踏まえ、厚生労働省ＤＭＡＴ事務局が全都道府県に対して派遣要請を行っており、各都道府県から被災県へＤＭＡＴが派遣された。

（３）後年度の財政負担

大規模災害時等に被災都道府県からの派遣要請があった場合に、当県のＤＭＡＴの派遣に係る経費負担が生じる。

（４）事業主体及びその妥当性

県とＤＭＡＴ派遣に係る協定を締結しているＤＭＡＴ指定病院

事　業　評　価　調　書（県単独補助金除く）

□　新 規 要 求 事 業
■　継 続 要 求 事 業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
被災地支援を目的とするＤＭＡＴの迅速な派遣及び円滑な支援活動の確保

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前（R ）	R6年度実績	R7年度目標	R8年度目標	終期目標（R ）	達成率
①						

〇指標を設定することができない場合の理由

災害に係る経費であるため、指標を設定することは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和５年度	
令和６年度	指標①　目標：＿＿　実績：　＿＿　達成率：　＿＿　％
令和７年度	指標①　目標：＿＿　実績：　＿＿　達成率：　＿＿　％

２ 事業の評価と課題

（事業の評価）

・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） ３：増加している ２：横ばい １：減少している ０：ほとんどない	
（評価） ３	被災地からの国を通じた要請に基づく医療派遣チームの派遣であり、県として対応が必要。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ３：期待以上の成果あり ２：期待どおりの成果あり １：期待どおりの成果が得られていない ０：ほとんど成果が得られていない	
（評価）	
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ２：上がっている １：横ばい ０：下がっている	
（評価）	

（今後の課題）

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

（次年度の方向性）

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

（他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果）

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	